

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 384

政策体系	21	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 3. 農業振 現年		
事業名	農業振興事業				
細事業名	農地保有合理化支援事業				
評価表作成者				農林商工部 農政課	松本 清臣

1. 事業の概要

（助園部町農業公社の農地保有合理化事業への補助金）

2. 事業の目的と必要性

- ① 施策で目指す目標との関連付け
 農業経営の規模拡大、農地の集団化等を促進するための事業。
 耕作放棄地対策を含む総合的な農地の保全を目指す。
- ② 事業を実施する必要性
 効率のよい農業を進めるため現地において、農地の出し手・受け手の間に入って農地保有合理化事業の普及・啓発・活用等の調整活動を行う現地調整員の配置が必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	150	600	600	600	600	600	600
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	150	600	600	600	600	600
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	0.05	0.05	0.07			
人件費	千円	—	371	414	594			
事業費総額	千円	—	971	1,014	1,194			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

推進員の設置 600,000円（補助金）

5. 事業結果の概要

推進員を配置し農地の相談業務を行った。

6. 活動の詳細

(1) 現地調整員活動		
●現地調整員の配置 (実施場所：園部町農業公社農業・農地相談室等) 農業経営の規模拡大、農地の集約化等を促進するための農地利用集積円滑化事業を推進するため、現地において農地の出し手・受け手の間に入って事業の普及・啓発・活用等の調整活動を行った。	11月1日～3月30日	(財)園部町農業公社による 現地調整員の配置 現地調整員手当：600,000円

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、農業公社において農地利用集積円滑化事業規程の制定を行い、農地利用集積円滑化促進事業を実施し、耕作放棄地の発生の抑制に努めた。農家の高齢化に伴う農地相談等は増加傾向にあり、必要不可欠な事業として、今後も継続的に実施する予定である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

農家の高齢化に進展に伴い、農地相談等は増加傾向にあり、必要不可欠な事業として、今後も継続的に実施予定である。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
現況の農業の状況
- ②当該事業のアピール事項
農家の高齢化に対応した施策として有効である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
今後とも継続的に実施。